

北海道版構造改革・地域再生特区（「北海道チャレンジパートナー特区」）
に係る計画認定申請（第5回）への対応について

先に申請があった下記チャレンジパートナー特区計画について、次のとおり決定されましたので、公表いたします。

1 計画の概要

申請主体	上士幌町・上士幌町教育委員会
申請年月日	平成18年 6月 8日
計画の名称	イムノリゾート高校振興元気まち特区
計画の概要	「イムノリゾート上士幌構想」等に基づき、アレルギー疾患等で就学に影響のある道外の高校生を道立上士幌高校に受け入れ、「療養と就学」を両立する機会を提供するとともに地域の活性化を図る。
道に求める支援措置等の内容	(1) 道外に保護者が居住する生徒の就学の容認 (2) 単位制の導入等 単位制の導入（1学年2学級の同校への単位制の導入） 外部講師の導入（現行教職員定数外での外部講師の任用）

2 道の対応

決定年月日	平成19年 1月17日
道の対応	<p>上士幌町の計画は、道の重点施策である観光振興や移住促進など、地域自らの創意と工夫による地域資源を活用した取組内容となっている。</p> <p>一方、当該計画の内容は、現行において個別かつ特例的に対応しているものや、教職員の加配措置が必要となり新たな道費負担を伴うものであることなどから、チャレンジパートナー特区として計画認定することなく、現行規定の範囲内で対応する。</p> <p>なお、上士幌町からは、今回の取扱いを踏まえ、道外からの就学等について具体的な事例が生じた時点で改めて相談したいとの意向が示されていることから、道としては、今後とも教育庁と連携し、適切に対応する。</p>